

1. 環境マネジメント



環境方針

マルヤス工業環境方針

環境基本理念

当社は、「技術とチームワークで世界に笑顔を」を会社方針に掲げている。この方針を基に、人と地球にやさしい技術開発を通して社会に貢献し、より良い地球環境の保全に努め、次の世代に住みよい地球と豊かな社会を残すように、環境保全に向け、積極的に取り組む。

環境方針

当社は、環境基本理念に基づき、環境保全活動の推進を工場運営の最重点課題の一つとして、下記の事項に積極的に取り組む。

- 1 自動車部品のユニット・パイプ、チューブ、ブラケット製品及び産業用部品の制御盤用熱交換器などの生産活動における当社の状況を理解し、インプット／アウトプットを低減することにより、省エネルギー、省資源、廃棄物の削減を行い、環境負荷を低減させる活動を積極的に推進することによって二酸化炭素の排出量を削減すると共に、省エネルギー、省資源を常に意識する人財を育てる。
- 2 環境目標を定め、その実現を図り、毎年一度環境方針と共に見直すことにより、環境マネジメントシステムの継続的改善を推進する。
- 3 環境関連法規制及び、地域との環境協定などを順守する。
- 4 定常作業時はもちろん、非定常作業時及び緊急時においても、地域社会にはご迷惑をお掛けしないように、大気や水の汚染防止及び環境保護を徹底し、自然共生社会の構築に貢献する。
- 5 お客様に安心、安全に当社製品を使っていただくために、製品に含有する化学物質の管理を徹底する。
- 6 従業員全員が環境基本理念を理解し、環境方針に沿った行動をとるよう、教育を行う。
- 7 環境に関する活動を通じて、持続可能な開発目標(SDGs)の達成に貢献する。
- 8 この環境基本理念と環境方針は、社外からの要請に応じ公表する。

制定：1999年11月12日

改定：2021年10月1日

マルヤス工業株式会社

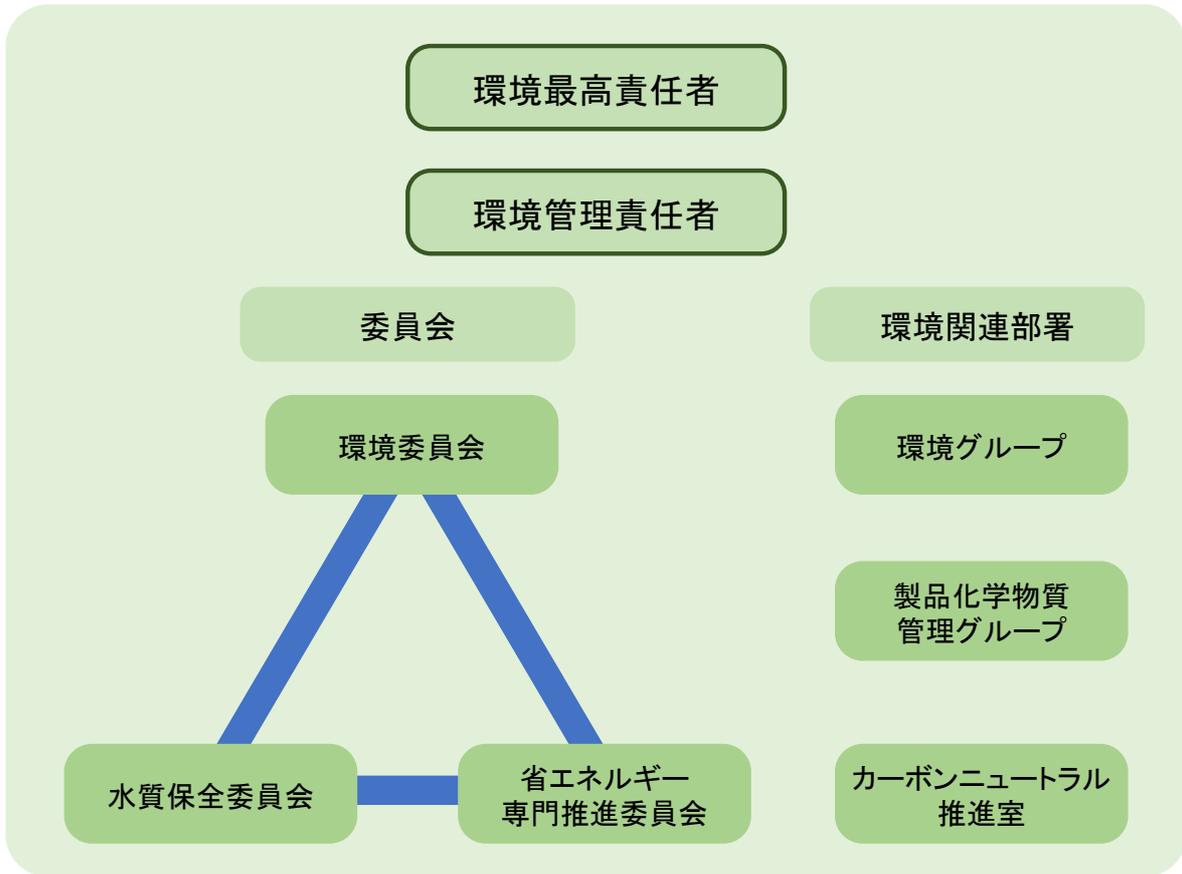
環境最高責任者



2. 環境マネジメント



環境管理体制



ISO 14001 登録証

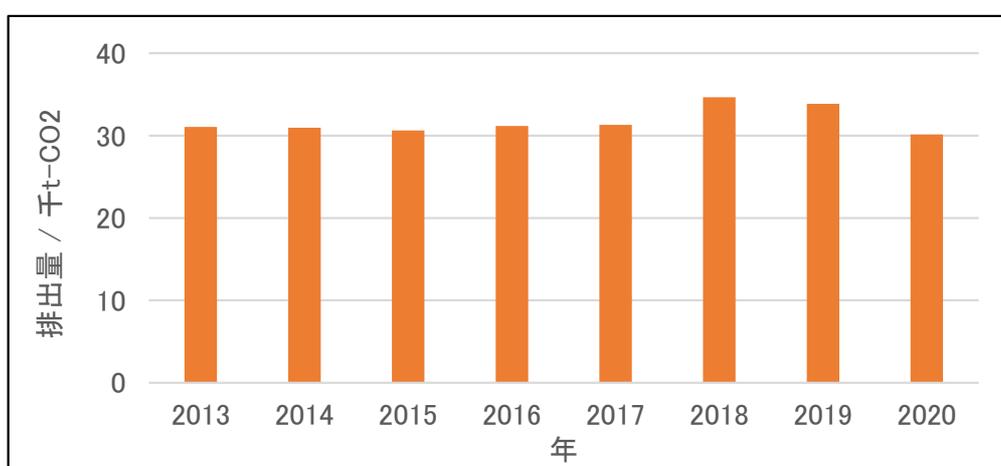


3.カーボンニュートラル

マルヤス工業は以前から「省エネルギー専門委員会」において、エネルギーの使用、CO₂排出量を管理し、削減活動を行ってきましたが、2021年に「カーボンニュートラル推進室」を開設し、2050年のカーボンニュートラル達成を見据えた推進体制の強化を図っています。開発設計から生産までグループ企業を含む全体プロジェクトとして、一気通貫で取り組む体制を整えるとともに、持続可能な活動を推進していくために必要な環境意識の高い企業風土や人づくりにも力を注ぎます。

CO₂排出量

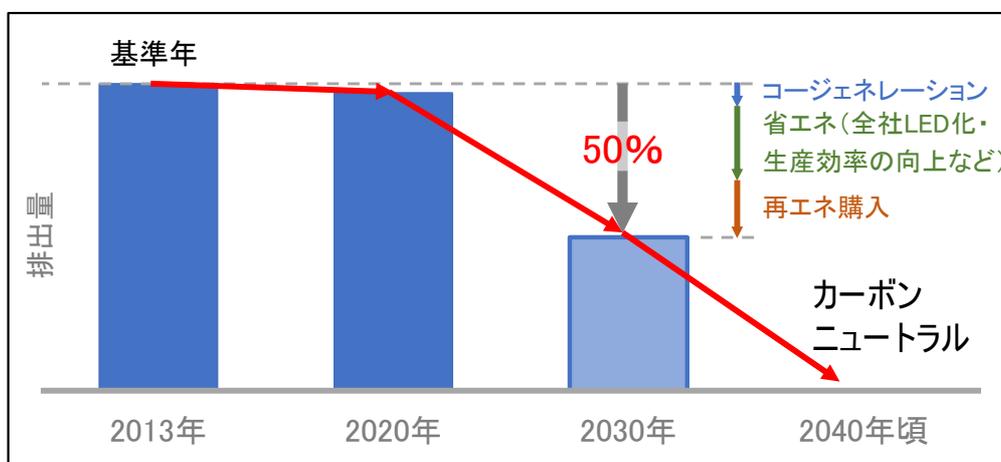
2013年のCO₂排出量を基準として、2020年度までに約1000t削減しました。



CO₂排出量

CO₂削減目標

2030年までに徹底した省エネ活動やコージェネレーションシステムの導入によって、2013年比50%の削減、コージェネレーションシステムのCO₂フリー化により2040年頃のカーボンニュートラル達成を目指します。

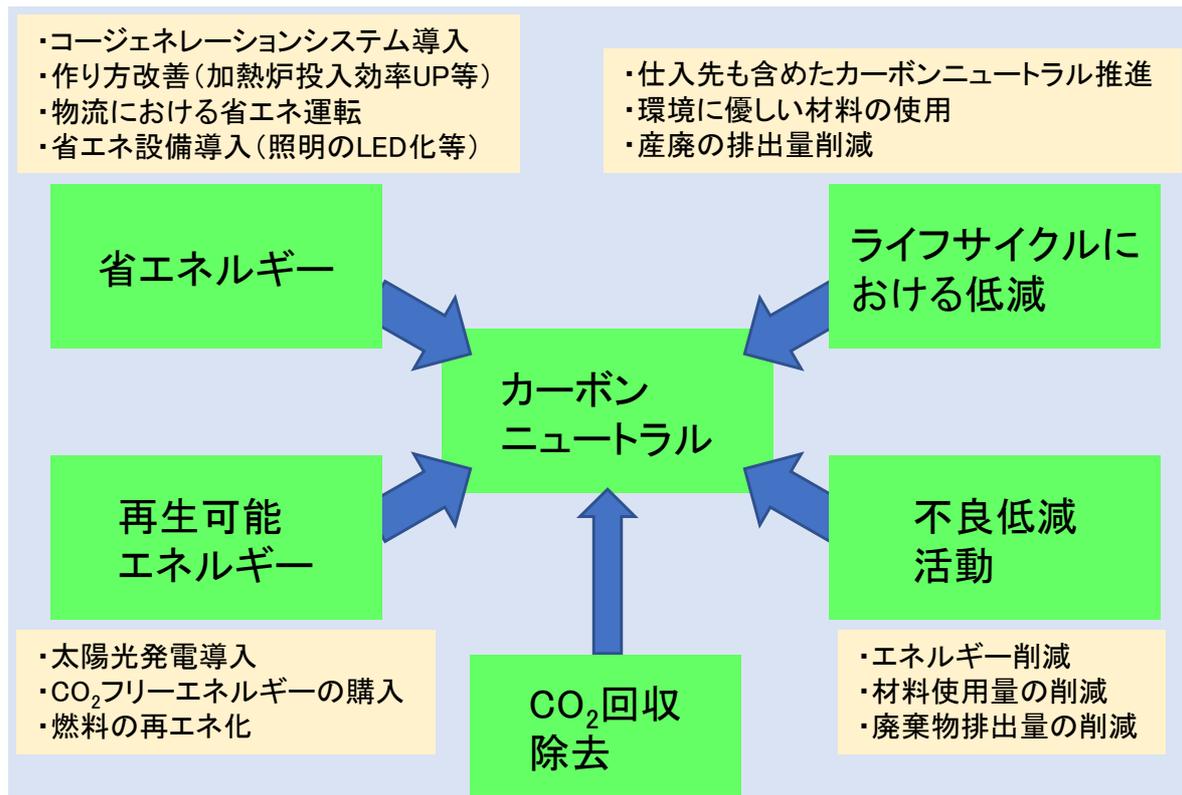


CO₂排出量

3.カーボンニュートラル

CO₂排出量ゼロを目指す5つのミッション

マルヤス工業は製品製造の工程や運搬工程を含めた企業活動全般でのCO₂削減に積極的に取り組みます。製造現場における省エネルギー化の推進はもちろん、グループ企業全体でのCO₂削減やグローバル生産体制の再構築、物流自体の削減など、カーボンニュートラルに向けた取り組みを進めて参ります。



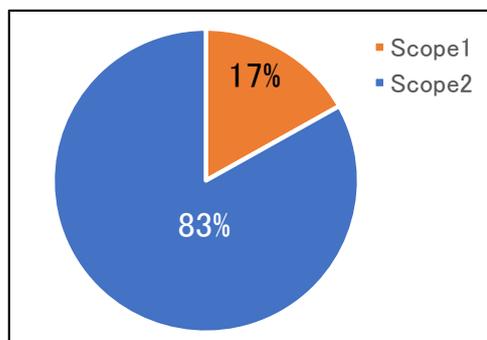
カーボンニュートラル関連の報告

- ・ エネルギーの使用の合理化等に関する法律に基づく報告
定期報告書(特定事業者・第一種指定工場(岡崎工場・御津工場))
中長期計画書
- ・ 愛知県地球温暖化対策推進条例に基づく報告
地球温暖化対策実施状況提出書
- ・ 客先要求に基づく報告
CDPサプライチェーンプログラム(気候変動・水セキュリティ)

3. カーボンニュートラル

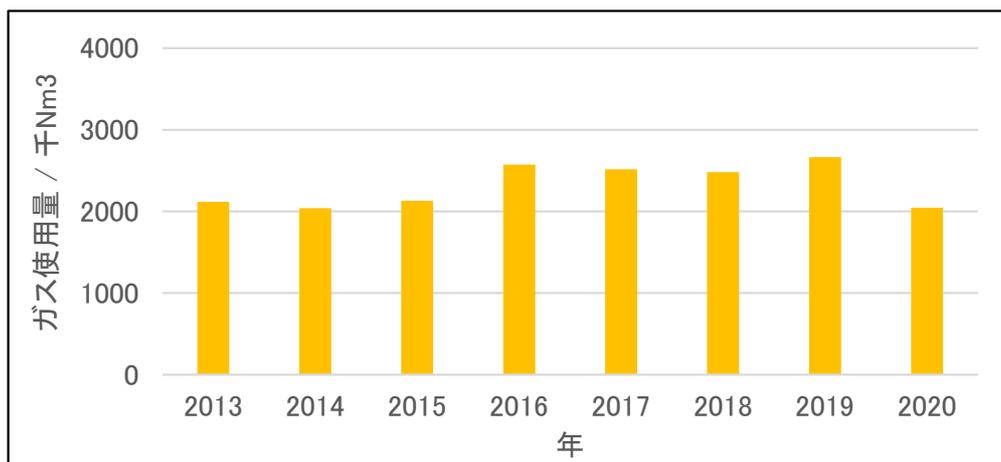
エネルギー使用量の削減

CO₂排出量のほとんどがエネルギー使用によるものです。中でも使用量の多いガス (Scope1)と電力 (Scope2)の削減に積極的に取り組んでいます。



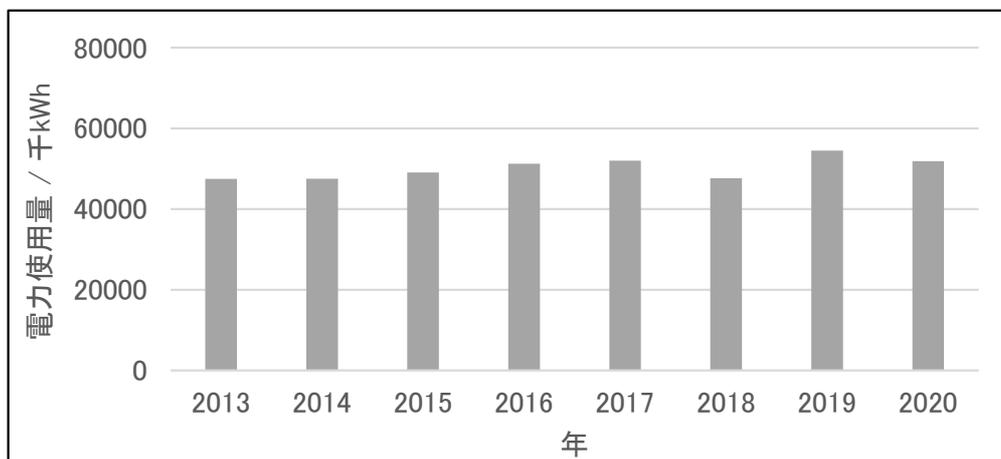
排出量内訳

ガス使用量の削減 (Scope1)



ガス使用量

電力使用量の削減 (Scope2)



電力使用量

4. 環境保全によるカーボンニュートラルへの貢献

資源循環

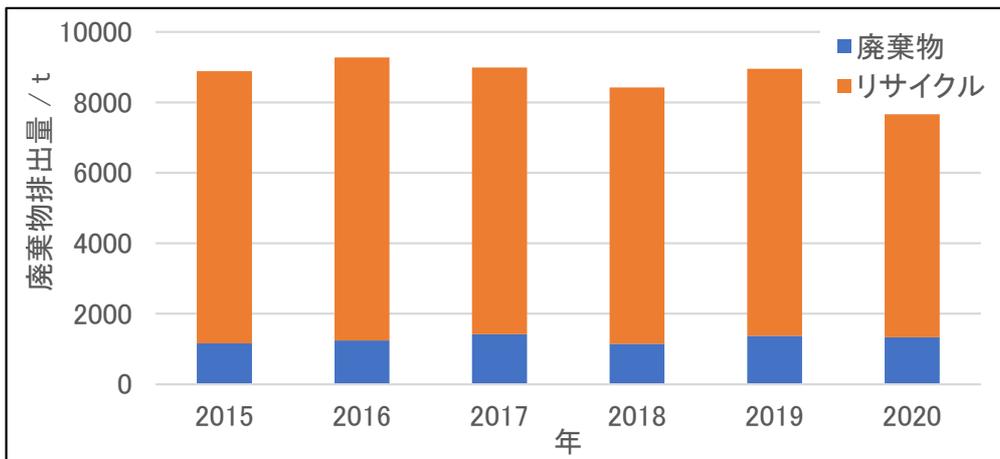
資源として利用できるものは分別回収し、廃棄物の削減に取り組んでいます。排出量の83%がリサイクルされています。廃棄物の処理に伴うCO₂排出量を削減します。

分別の徹底

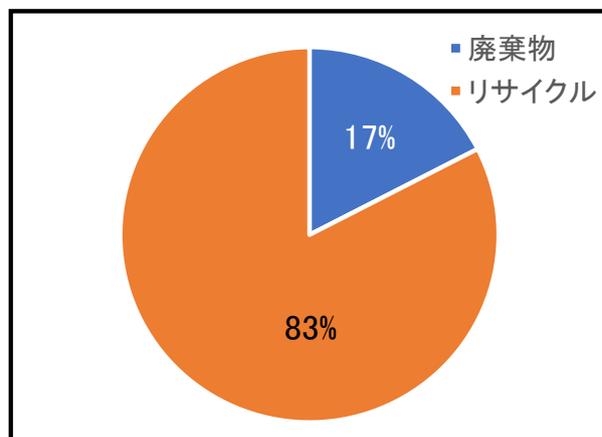


廃棄物置場の明示例

廃棄物排出量



廃棄物排出量



廃棄物・リサイクル比率
(2020年)

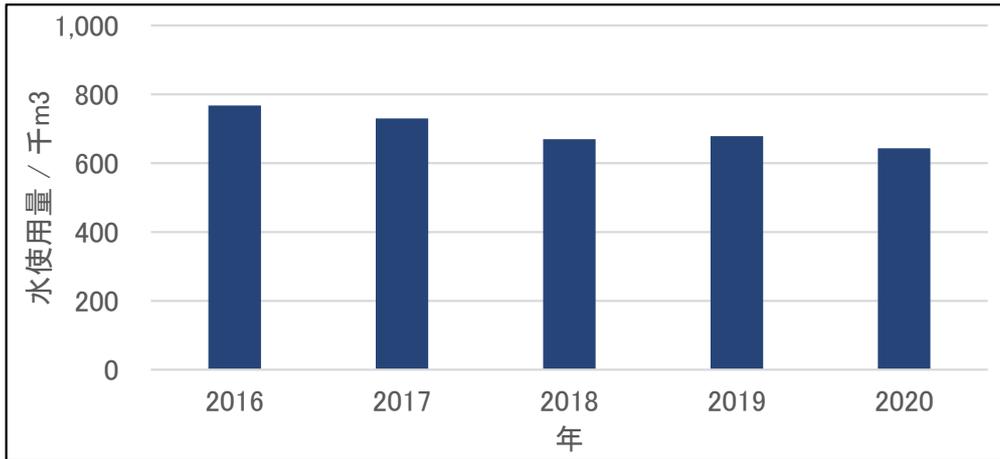
4. 環境保全によるカーボンニュートラルへの貢献



水使用量の削減

貴重な資源である水の使用量の削減に取り組むとともに、工場から排出される水は適正に処理・管理して、国内トップレベルの厳しい水質基準を順守しています。また、排水中のZn濃度についてはオンライン分析装置を導入し、常時監視を行っています。

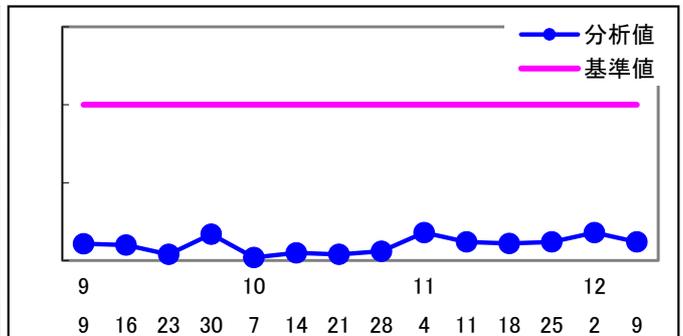
水使用量削減



排水分析



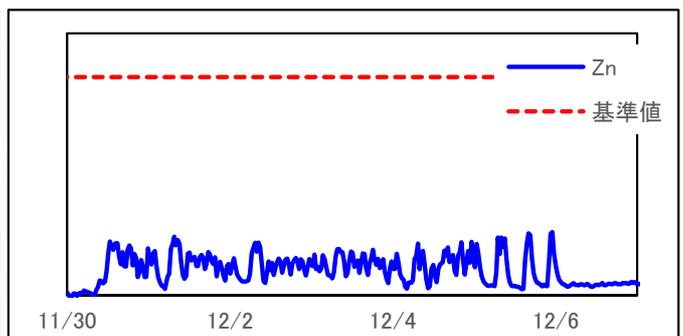
排水分析



オンライン分析



オンライン分析装置



オンライン分析結果(例)

4. 環境保全によるカーボンニュートラルへの貢献



化学物質管理

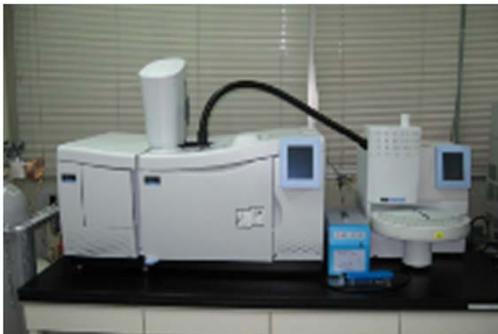
工場で使用される化学物質の管理を徹底するとともに、製品に使用される化学物質の管理を徹底し、化学物質による地球温暖化、環境汚染、生物への影響の最小化に努めています。

使用する化学物質の管理

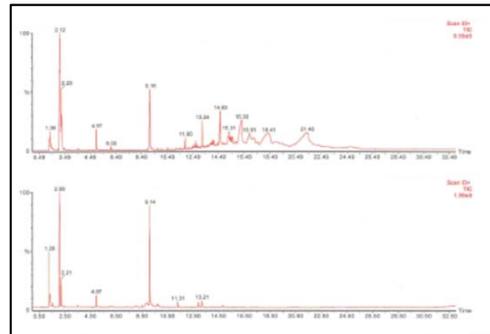


生産ラインにおけるSDSの掲示

製品に含有される化学物質の管理



GC/MS分析装置



製品含有化学物質分析(例)

4. 環境保全によるカーボンニュートラルへの貢献



生物多様性

生物多様性の保全のため工場排水の国内トップレベルの厳しい水質基準を順守し、下流の三河湾沿岸の漁業協同組合様や矢作川沿岸水質保全対策協議会様に定期的に水質保全状況を報告するとともに、アサリ等の海洋生物の保護に貢献しています。

水質保全委員会



会議の様子



河川水の採取



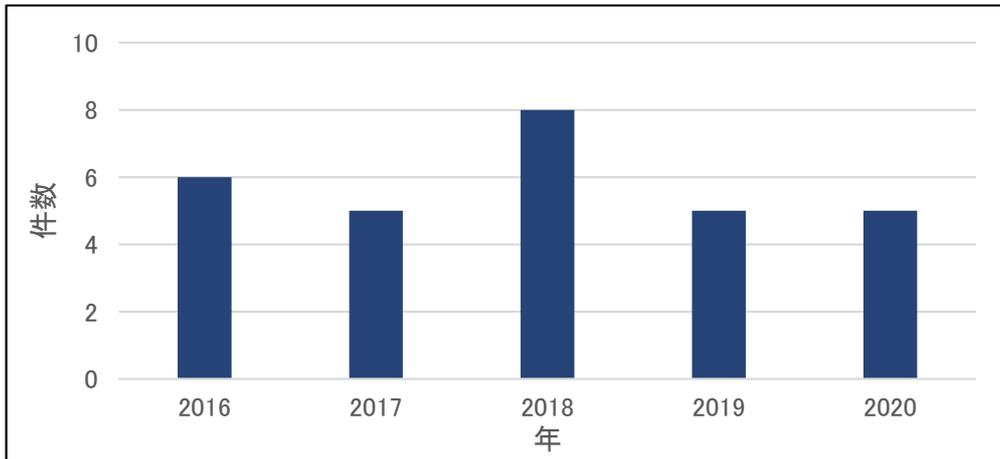
アサリ（イメージ）

4. 環境保全によるカーボンニュートラルへの貢献

環境貢献製品

環境指数* 1.2以上の製品開発2件以上を目標に環境貢献製品の開発に取り組んでいます。
 (* 日本自動車部品工業会 製品環境指標ガイドラインに基づく)

環境配慮製品の開発

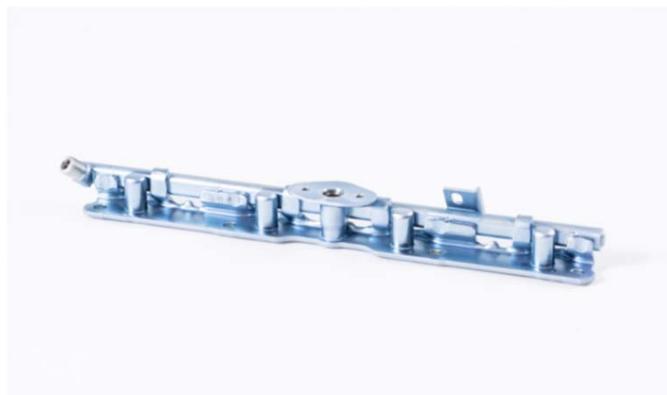


環境貢献製品の開発件数

環境配慮製品例



EGRクーラー

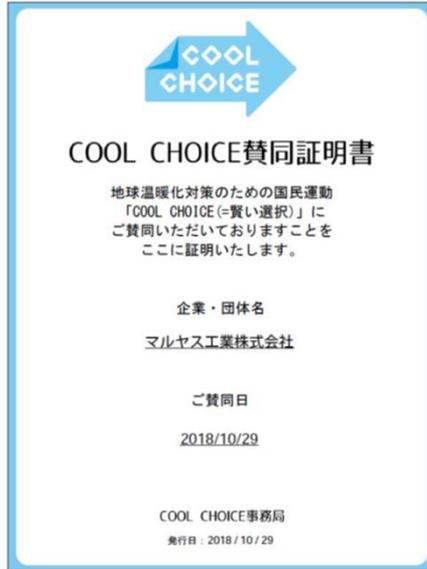


高圧デリバリ

4. 環境保全によるカーボンニュートラルへの貢献

COOL CHOICE

2018年から地球温暖化対策のための「COOL CHOICE(=賢い選択)」に賛同しています。



COOL CHOICE 賛同証明書

岡崎市地球温暖化防止隊

岡崎市の地球温暖化防止隊の賛助会員です。岡崎市地球温暖化防止隊への事業協力を通じてSDGsの5つの国際目標に関わる事業協力を行っています。



賛助会員証



SDGs事業協力認定書

4. 環境保全によるカーボンニュートラルへの貢献

啓蒙活動

社内環境教育

全社員及び関連会社に環境ニュースを発行し、カーボンニュートラルを始めとした環境に対する情報を発信しています。

環境ニュース (E21-10)
2021年6月1日
マルヤス工業(株) 環境委員会

温室効果ガス
温室効果ガス(GreenHouse Gas, GHG)とは、大気層にあって、地表から放射された赤外線の一部を吸収することにより、温室効果をもたらす気体のこと。

温室効果ガスの種類
人間活動によって増加した主な温室効果ガスには、二酸化炭素、フロンガス、メタン、一酸化二窒素がある。二酸化炭素は地球温暖化に及ぼす影響が最も大きな温室効果ガスです。石炭や石油の消費などにより大量の二酸化炭素が大気中に放出されます。また、大気中の二酸化炭素の吸収源である森林が減少しています。これらの結果として大気中の二酸化炭素は年々増加しています。

CO₂排出係数
CO₂排出係数は、エネルギーの使用によってどれだけの二酸化炭素を排出したかを推測するための係数です。

電気	0.431 kg-CO ₂ /kWh
都市ガス	2.29 kg-CO ₂ /Nm ³
LPガス	2.32 kg-CO ₂ /L
灯油	2.42 kg-CO ₂ /L
軽油	2.58 kg-CO ₂ /L
A重油	2.71 kg-CO ₂ /L
水素	0.23 kg-CO ₂ /m ³

例
電気を1kWh使う(1kWhの電気を1時間使う)と、0.431kg二酸化炭素が出る
LPガスを1L使うと、2.32kg二酸化炭素が出る

計算してみてください
エネルギー使用量 × CO₂排出係数 = CO₂排出量
例
5kWhの設備を4時間使用した → 5 × 4 × 0.431 = 8.62 kg-CO₂

環境家計簿をつけて、地球環境にも家計にもやさしい生活しよう
家庭から排出される二酸化炭素量を把握し、削減を心がけることで地球温暖化の防止に役立つとともに、ライフスタイルの見直しで、無駄なエネルギーの使用が減り、家庭の支出を減らすこともできます。 → https://www.city.ofkashi.lg.jp/1190/1190_1193_000245.html

省エネ活動などで、エネルギーの使用量を削減したときは、合わせてCO₂の削減量も計算してください。

配布先 ALL ノーツ登録者全員 (社内ノーツ登録者、労働組合、連内関連会社 等)

2022年1月11日
マルヤス工業(株) 環境委員会

私たちの毎日の生活の中で電気・ガス・水道・灯油・LPガス・フロンガスです。家庭向けのツールです。

2021年2月1日
マルヤス工業(株) 環境委員会

分野におけるエネルギー使用量は、国は毎年2月を省エネ月と定めています。省エネ月におけるエネルギーの使用量を削減してください。

CO₂によるものです。省エネによるものです。

マルヤス工業実績

年度	CO ₂ 排出量 (t)
2017年	16,127
2018年	15,717
2019年	15,146

2017年 2018年 2019年
省エネ活動によりCO₂排出量も削減している

仕入先教育

仕入先様にもライフサイクルを通じたCO₂低減活動の実施、製品含有化学物質の管理を実施していただくため、教育を実施しています。

